おおい町 まちづくりアイデアコンテスト

目指せ！おおいマスター
at SEE SEA PARK
～おおい町で子どもたちに非日常体験を～

令和8年11月22日

3班 島根大学

チーム紹介



島根大学　法文学部法経学科

経済学コース

財政学ゼミ（関耕平ゼミ）３回生

これまでのゼミ活動

- ✓ 地方財政に関する学習
- ✓ フィールドワーク（島根県隠岐郡 海士町）での関係人口施策に関する学習



たかはし　さく
高橋 朔玖

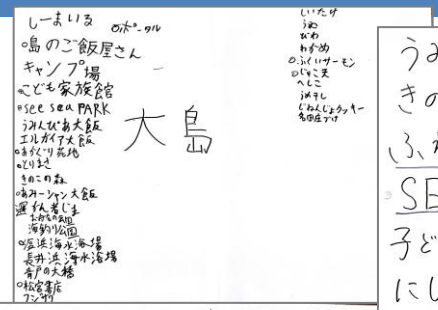


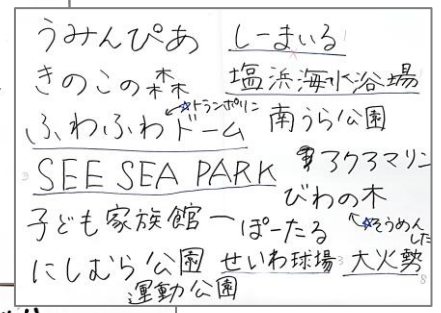
わきた　れいこ
脇田 礼子



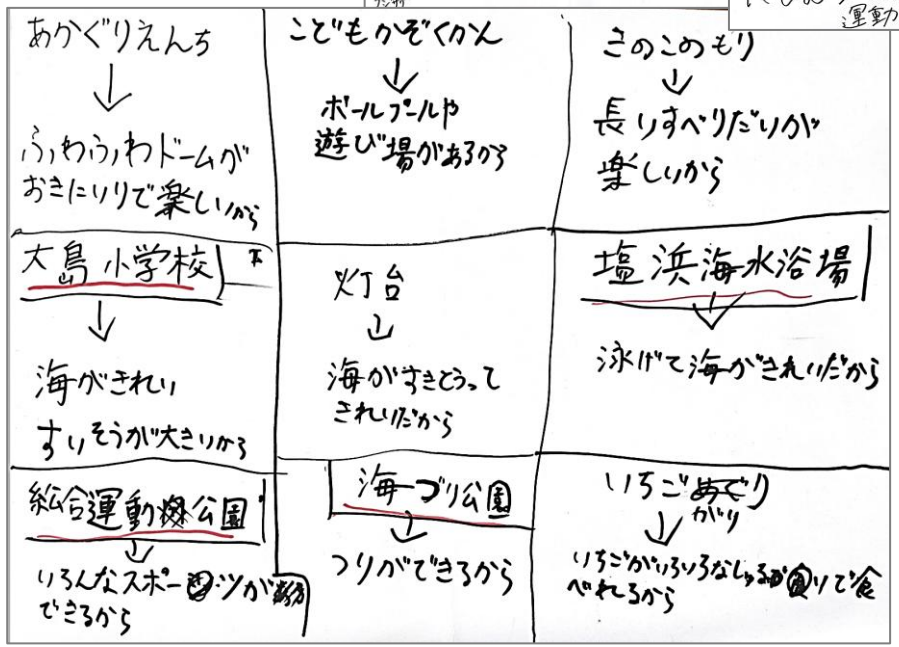
なかむら　あやせ
中村 文晶

フィールドワークでの取り組みから





大島小学校での調査で小学生におおい町の好きな場所を質問



その結果…
好きな場所と一緒に**楽しかった思い出**が出てくる

楽しい体験が町への愛着につながる！

町内の子どもたち

おおい町を楽しむイベントへの参加により、**町に対する思い入れ**が更に深まる

町外の子どもたち

おおい町での**楽しい思い出**が**町への思い入れ**を生む

将来、町に定住することや町のパートナーとしての関係人口になる可能性が高まる（未来の関係人口）

楽しい体験から
未来の関係人口＝おおいマスター
を育てるプログラムに！

テーマ





総合テーマ

SEE SEA PARK　オールシーズン賑わい創出

サブテーマ

①「町の内と外に住む人たちの、つながりつづくまちづくり」

②「自然や文化、テクノロジーを活かし、子どもの未来広がる体験を」

- **SEE SEA PARK** を拠点として**四季ごとに開かれる、町内外の子どもたちが対象の** おおい町の**自然や文化体験型**イベント
- おおいサポーター制度活用と、子ども版おおいサポーター（おおいマスター）制度創出による、町への新たな関わりかたを提案

SEE SEA PARK と おおいサポーター を活用した
「通年型非日常体験プログラム」の展開

目次

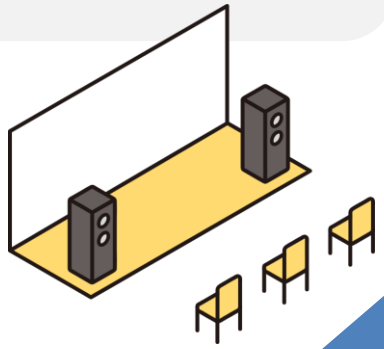
- 背景と課題 ---------- 4～7
- 目指すビジョン ---------- 8
- ビジョンの達成に向けて ------- 9～11
- 期待する5つの効果 ---------- 12～16
- 総括 ----------17
- 質疑応答

SEE SEA PARKの背景と課題

- 「**みんなでつくる公園**」をコンセプトとした複合商業施設
- テナントスペースやコワーキングスペース、広場などが整備されており、新たなビジネスや**地域交流を生み出す拠点**としての役割を担っている
- 卓球スペースやベンチなどが多くあり、**子どもたちを含め町内の人の憩いの場**にもなっている

- 様々なイベント内容が可能である多様な施設
- おおい町に関わりを持つようになった**町外の人々にとっても憩いの場**になれば、SEE SEA PARKが**町内外の人々の交流の場**へ

- **来客のシーズン差**がある
- イベントが来館売り上げにつながっていない



おおい町の人口動態と課題

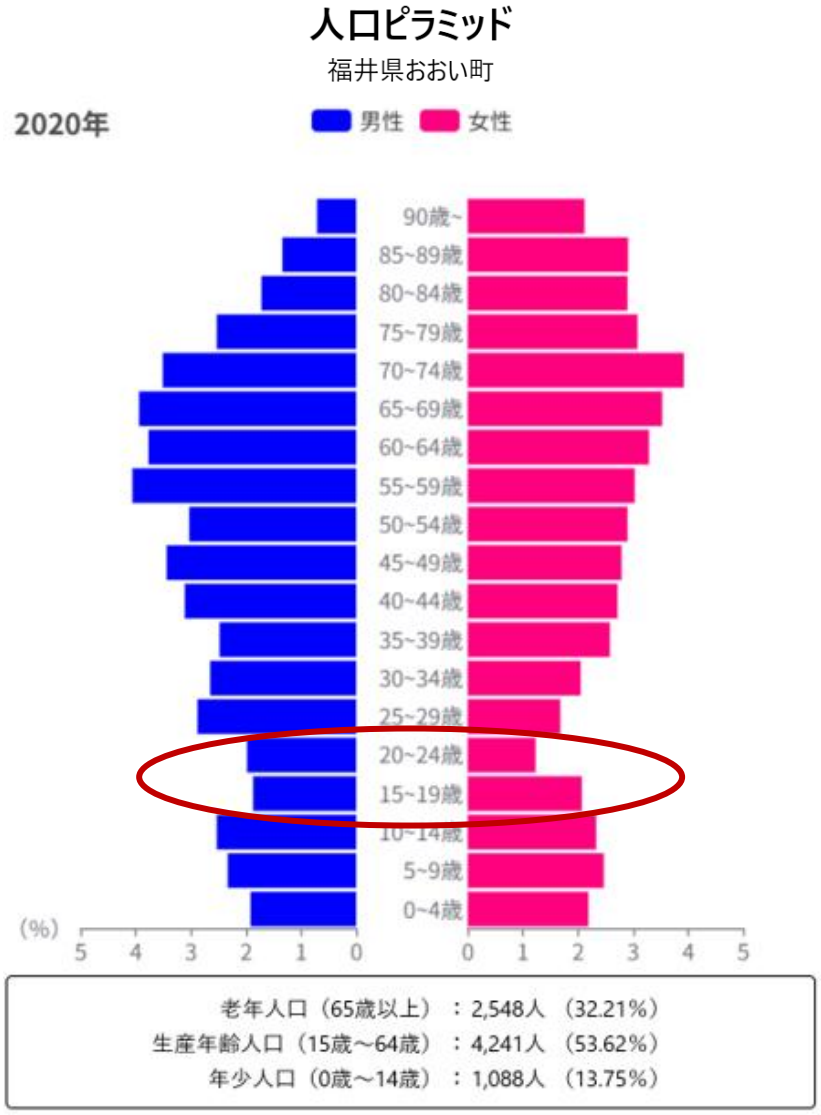
■ 進学や就職に伴い、15歳～24歳の人口が著しく減少している

➢ **地域を支える担い手の減少**

◆ 人口流出を防ぐというより、地域の外に出てもふるさとと繋がり続ける関係を築くこと

◆ Uターン者の定住化と同様に、関係人口・滞在人口の創出も効果的

◆ そのために、人々と町との関係は様々なかたちで繋がることができるようにすることが重要



出典：RESAS（人口構成分析）

おおいサポーター制度の背景と課題

- 平成27年7月　**町の活性化の促進や町外からのボランティア**を応援するため、「おおい町イベントサポーター制度」として開始
- 平成31年1月　**町との繋がりを切らさない**ため、より広く**町の魅力をPR**するため、現在の「おおいサポーター制度」に拡充
- 地域の担い手不足や活性化への寄与へも期待されている

- 登録人数 **330人**（令和8年8月時点）➡ 登録しても活動に繋がらない、音信不通
- 学生を中心に**増加傾向**にあるものの、おおい町のPRや情報発信といったサポーター活動に関して**基本的にはサポーター個人に一任**
  - 活動や関係性継続のハードルが高く、年齢層も限られる
  - サポーター活躍の機会が少ない



おおい町の関係人口施策の現状

おおいサポーターは
大使タイプに分類

経済的消費
（ふるさと納税など）



消費タイプ

地域の認知度
拡大や PR



大使タイプ

地域づくりへの
参加や協働



パートナータイプ

- おおいサポーター制度の**パートナータイプ**への転換
- **おおいマスター制度の導入**による**新たな関係人口の創出と継続**

参考：西村忠士・瀬田史彦(2023.10),「地方自治体による関係人口活用の取り組みに関する研究−労力・賃金・知識やスキルが提供される取り組みに着目して−」,公益社団法人日本都市計画学会,都市計画論文集Vol.58 No.3

目指すビジョン

SEE SEA PARK を
一年を通して賑わう
地域内外の人々の交流拠点へ



おおいサポーター活躍の場の創出と
イベントを通じたおおいマスター養成
による、おおいサポーター制度の変革



ビジョンの達成に向けて

― 実 施 内 容 と 体 制 ―

- 概要
- 予算案
- 一年間のスケジュール例

実施内容と体制　【概要】

SEE SEA PARK を拠点とした通年型イベントの開催

対　　象：小学校 ４～６年生（**町内外問わず**）

開　　催：**季節ごと**（**年に4回**）、一泊二日型

プログラム：SEE SEA PARK内の広場やアトリウムを利用し、宿泊

SEE SEA PARK を拠点に、おおい町内の施設や自然を体験

✓ **一年を通して全ての回に参加することで、**
おおい町を知る博士になったと見なし、“おおいマスター”に任命

※ おおいマスターは原則小学6年生までとし、その後はおおいサポーターへと移行
町内の子どもたちは町外に移住するまでとする

実施内容と体制　【予算案】

参　加　費：　無料（交通費は自己負担）

参 加 人 数：　子ども １０人、ボランティア（おおいサポーター）３人
＋ 島根大学チーム ３人

事業予算計画（年間総額：55万円 / 年四回開催）

① 宿泊費・施設利用費（SEE SEA PARK利用費等）：約4万5千円
② 食費・食材費（地元の食材などを活用）：約5万円
③ 体験・プログラム材料費 ：約3万円
④ 雑費・保険料・予備費 ：約1万2千500円

（※ 一回あたりの合計 ：１３万７千５００円 × 年四回 ＝ ５５万円）

- ボランティアとなるおおいサポーターの交通費等はおおい町のふるさと応援事業を利用

【一年間のスケジュール例】

春　出会い

- 顔合わせ
- 花見（佐分利川）
- SEE SEA PARK 探検



夏　エンジョイ

- 塩浜海水浴場
- バーベキュー
- 花火



秋　カルチャー

- 陶芸体験
- きのこカレー作り
- 若州一滴文庫



冬　集大成

- あかぐり海釣公園
- 牡丹鍋
- 雪遊び
- 任命式



期待する 5つの効果

SEE SEA PARK と おおいサポーター を活用した
「通年型非日常体験プログラム」の展開



子どもたち
の体験の場

未来の関係
人口の創出

SEE SEA
PARK
通年の賑わい



従来の
関係人口施
策からの転換

おおいサポーター
の関係深化、継続



SEE SEA PARKに通年の賑わい創出

◆ 町内外の子どもたち向けに宿泊を伴うイベントを実施

- ✓ 活動中の食事や宿泊の拠点として SEE SEA PARK を利用
- ✓ イベントは年4回開催し、子どもたちが季節ごとの自然や文化を体験する

- ➢ 一年を通じて SEE SEA PARK に通って活動することで SEE SEA PARK の認知度を高め、子どもたちやおおいサポーター、関係者たちが SEE SEA PARK に親しみを持つ
- ➢ 体験を通じた魅力が口コミや家族での再訪を促し、イベント以外でも憩いの場として、賑わいがさらに創出されるようになる

おおいサポーターと町の関係深化、継続
従来の関係人口施策からの転換

◆ イベントのサポートを**現在登録しているおおいサポーターに要請**または、
サポートの募集を地域内外の学生や社会人に呼びかける

- ✓ おおいサポーターの活躍の場創出と新規獲得
- ✓ 通年開催のため、一回きりの関係というより継続的な関係を構築

◆ PRとは異なり、現地に行きイベントに直接携わることで
おおいサポーターとしてまちづくりに関わっているという実感が得られる

- ✓ 大使型（PR）からパートナー型（参加・協働）への転換

子どもたちの体験の場づくり
未来の関係人口の創出

◆ **子ども版**おおいサポーターである**“おおいマスター”**制度を
新たに導入し、**将来のおおいサポーター**を育てる

- ✓ SEE SEA PARK を拠点に実施する体験プログラム＝**おおいマスターの養成**
- ✓ イベントに参加する地域外の子どもたちは関係人口、
  地域内の子どもたちは**未来の関係人口**

➢ **プログラムでこどもたちにはおおい町でしかできない楽しい体験をしてもらい、
おおい町を「すき」になってもらう
（体験に基づく思い出 ➡ 思い入れのある場所、関わり続けたいまち へ）**

しかし、

提案のイベントは継続的な開催が必要

- ✓ **子どもたち**がおおい町に愛着を持ったまま成長し、大人になっても、 **おおい町のパートナー**としてつながり続ける
- ✓ **未来の関係人口を育てるプログラム**
- ✓ おおいマスターやおおいサポーターたちがイベントの参加や他イベントのボランティア参加などを通して、**参加者からパートナーへと昇華**していく

◆ **継続的に開催**することで口コミやリピートを呼び、**中長期的な関係人口**の安定した獲得につなげることができる

➡ **単年開催ではなく、おおい町の一つの関係人口施策として確立させる**

総括



おおい町

- **中長期的な関係人口**の獲得
- **町のパートナー**作りの基盤構築
- 子どもたちなど住民の主体性向上



SEE SEA PARK

- イベントによる**通年の賑わい創出**
- 口コミなどによる再訪
- **町内外問わず憩いの場**に



地域住民

- 子どもたちにとっての**体験の場**の創出
- 地域の活性化への寄与
- **地域への愛着**形成



おおいサポーター

- **まちづくりのパートナー**として、主体的に活躍できる場の獲得



おおいマスター

- **地域内外の子どもたち**の交流により、互いに新たな価値観が身につく

町内の子ども

- 町の魅力再発見、実感

町外の子ども

- 思い入れのあるふるさとの創出

謝辞

３日間の現地調査及びヒアリング調査でお世話になりました、
おおい町役場まちづくり課の皆様、健やか健康課の皆様、
学校教育課の皆様、大島小学校の教職員の皆様、
３年生～６年生の児童の皆様、そして温かく迎えてくださった
地域の皆様に、心より感謝申し上げます。
皆様のご協力と貴重なお話のおかげで、多くの学びを得ることができました。
厚く御礼申し上げます。

質疑応答